

poco ZEFIRO

カトリック桂教会広報誌

Vol. 23
2024年

聖母被昇天祭号

編集・発行

カトリック桂教会広報部

祈りと日常生活における

祈りの重要性

Sr. ポーリン・

フェルナンデス



教皇フランシスコは、2025年の聖年に向けた準備として、2024年を祈りの年とすることを発表した。

祈りに関して、私たちは神に向かって心と思いを高めます。神の無条件の愛を心に留めて、私たちは毎日神と対話し、神の御心を求め、私たちの人生に対する神の計画を、識別するようになります。祈りは聖性への王道であり、それは、私たちが活動の中にあっても、観想的であることを可能にする。



桂教会の
庭で、隠れたところから
私たちをいつも見守って
おられるマリア様



教皇フランシスコは、2024年の熱心な祈りの年が、私たちの心と思いを大きく広げ、神の恵みのほどばしりを受け取ることになる、と期待している。さらに、イエスが私たちに教えてくださった唯一の祈りである「天におられる私たちの父」を実現することは、今日の近代化され、デジタル化された世界の、イエスの弟子である私たちの人生のプログラムでもあります。「私たちには、父なる神に祈る勇気が必要です」と教皇フランシスコは書いている。

神は、私たちに寄り添い、私たちが許し、パンを与え、私たちが求めるすべてのことに気を配り、野の花よりも良い服を私たちに与えてくださる父であることを、心から信じることです。

私たちは「天におられる私たちの父よ、御名が聖とされますように」と呼びかけることから祈りを始めます。神聖なる、あなたの御名が崇められますように。私たちが「親密さ」というものに入ることを可能にするの

は、「父」である神との「関係的」で「親しみのある」つながりです。

私たちは、神を愛情深い父として認識しています。私たちの父は「天におられる方」です。

「彼は私たちを愛しています。」

たとえ私たちの父と母が私たちを愛していなかったとしても（歴史的な仮説ですが）、この世界でこれまで、あるいはこれまでに、誰も愛したことがないほど私たちを愛してください。神が、天にいらつしやいます。神の愛は不変である。

預言者イザヤはこう述べています。

「女は自分の乳飲み子を忘れるであろうか。

母親が、自分の産んだ子を憐れまないであろうか。たとえ女たちが忘れようとも、私があるたを忘れることは決してない。見よ、私はあなたを、私の手のひらに刻み付ける」（イザヤ書 49：15～16）したがって、私は、神の手の中にあります。取り除くことはできません。

神の愛は、母の愛のようなもので、決して忘れることはできません。そして、もし母親が忘れてしまったら？「わたしは決して忘れません」と、主は言われます。これは、神の完全な愛です。

私たちはこのように、神から愛されています。

このようにして、私たちは彼に愛されているのです。たとえ地上の愛がすべて崩れ去って、手には塵だけが残されたとしても。

神の比類のない忠実な愛は、私たち全員に対して、常に燃えています。

私たち全員が感じる、愛への渇きは、存在しないものへの憧れではなく、父である神を知ることへの招き（誘い）です。たとえば、聖アウグステイヌスの回心では、彼は、若くて優秀な弁論家であり、どんな被造物も彼に与えることのできない何かを求めていただけでした。しかしある日、彼は勇気を持って視線を上げました。そしてその日、彼は、自分を心から愛してくれる神を知りました。「天国におられる」という表現は、距離を意味するのではなく、むしろ、愛の根本的な違い、別の次元の愛、疲れを知らない愛、絶え間ない愛を意味します。永遠に存在する愛。

「天におられる私たちの父よ」と言うだけで十分です。そうすれば、愛がやって来ます。

最後にカルカッタのマザー・テレサの言葉で終わりたいと思います。彼女がこう言いました。

「天におられる私たちの父よ、を祈り、それを実践

することが、私たちが聖人へと導くのです。

私たちの父よ、という祈りに
は、神、私たち自身、私たちの
隣人・・・すべてが含まれてい
ます。」

教会からのお知らせ

皆様いかがお過ごしですか。

年々厳しい暑さが続き体調管理も難しい日々ですが、聖母被昇天の祝日を迎え、マリア様が、清く正しく神様への信頼に満ちた生涯を、送られたことを思い起こし、私たちもマリア様にならって、まっすぐな信仰を、持ち続けていきましょう。

病气や介護など、何らかの事情の為、今は教会に来られない方で、ご一緒にみ言葉を読み、ご聖体を受けたいと希望される方は、どうぞご遠慮なくお知らせ下さい。

司教様から任命を受けた左記の者が、訪問させていただきます。

また涼しくなったら教会に顔を見せてくださいね。

聖体奉仕者

教会役員